



海の恵みを BlueTechとイノベーションで 社会へ 未来へ

海洋先端技術



一般財団法人マリンオープンイノベーション機構

新聞記事検索システム
導入事例

vol.118



新聞データベースで社会を俯瞰する

マリンオープンイノベーション (MaOI) 機構は、静岡県内の海洋や水産業に関わる企業を支援する組織として、2019年7月に静岡県が100%出資して設立された一般財団法人です。2020年11月に移転した清水マリンビルを拠点に活動しています。

私を含め現在5人のコーディネーターが在職し、主に県内の企業や研究機関にコンタクトさせていただいています。そこで話題に上がるさまざまな課題やニーズに応えるため、異業種の企業の紹介や大学等

新聞データベースを活用し効率的に情報収集する加戸さん(右)



研究機関への相談の取り次ぎなど、いわゆる企業マッチングや産学連携のお手伝いをしています。

企業を訪問する際に、業界情報や企業情報などを収集する手段として「静岡新聞データベース plus 日経テレコン」は非常に重宝しています。静岡新聞、伊豆新聞に加えて日本経済新聞の記事を瞬時に検索でき、県内の詳細な情報はもちろん、さらに広い視野で俯瞰でき、大変都合なツールとして日々活用しています。

企業から寄せられる要望は、養殖や食品加工からセンシング、通信などITやコミュニケーションに関わるものまで幅広く、その技術分野は多岐にわたっています。新聞データベースであれば、新聞記事の解説などを活用し、広範囲の技術分野に関しても素早く予習ができることも大きな利点です。

コーディネートプロデューサー 加戸 久生

つぶさに情報収集し海の未来を守る

「美しく豊かな静岡の海を未来につなぐ会(以下つなぐ会)」は、MaOI 機構内に事務局をおき、静岡の海に関わる方々の連携・協働のネットワークをつくり、県民の力を合わせて、静岡の海を美しく豊かなまま未来に引き継ぐことを目指して活動しています。

例えば、藻場の回復活動を紹介するイベントの開催や海岸のごみ清掃活動の支援などを行っています。また、海に関わる活動をされている方を、つなぐ会のホーム



県内の海に関連する新聞記事をくまなく収集する竹内さん

ページで紹介するとともに、海に精通する県内の著名人に「しずおかの海PR大使」に就任していただき、共同ツイッター「静岡の海のなかま」@shizuoka_umi を通じて静岡の海の魅力を伝えていただくなど、県民の皆さまへ情報を発信しています。

県内で海に関する活動が広がる一方、人知れず活動されている団体も多く、私たちも新聞記事で初めて知るといったケースもよくあります。埋もれてしまいがちな団体の貴重な活動内容についての記事も「静岡新聞データベースplus日経テレコン」を活用すれば、キーワードを入力し、期間、調べたい媒体をチェックするだけで一括で検索することができ大変便利です。これからは団体相互の繋がりを強化し、静岡の海を美しいまま未来につなぐ活動が活性化するようにサポートしていきたいと思えます。

美しく豊かな静岡の海を未来につなぐ会
事務局 竹内 裕美

私たちの仕事 Our Work



わたなべ しんいちろう
渡邊 眞一郎

一般財団法人
マリンオープンイノベーション機構
専務理事兼事務局長

日本一深い駿河湾をはじめ魅力的な海に臨む静岡県では、先進技術を活用し、産・学・官・金の連携を通じて、海洋関連産業の発展と海洋環境の保全の両立を目指すブルーエコノミーを推進しています。当機構はその推進役として、海由来の商品開発・上市の支援や、海洋関連の課題解決支援などに取り組んでいます。

海と人が共にある暮らしを未来につなぐ

より多くの企業の皆様からニーズについてのお話を伺い、また幅広く多様な大学や研究機関等の方々から、より多くの情報や知見を共有させていただいて、企業ニーズに応える有意な知恵をお届けできるよう努めています。「静岡新聞データベース plus 日経テレコン」は、こうした情報収集を効率的に行う有用なツールになるものと、大いに期待しております。

〔当サービスのご利用について〕静岡新聞データベースplus日経テレコンは、インターネットを通じて提供する有料・会員制のサービスです。サービスご利用には、契約お申し込みが必要です。〔利用料金〕サービスご利用には、ご契約の当初料金、月額固定料金がかかります。

地元密着の静岡新聞、国内外の経済情報を網羅する日本経済新聞の情報を同時に検索

静岡新聞データベース plus 日経テレコン

■お問い合わせ 静岡新聞社 デジタルビジネス局

TEL 054-284-9661 (平日 9:00~17:00)



静岡新聞

